本資料のうち、枠囲みの内容 は商業機密の観点から公開で きません。

女川原子力発電所第2号	号機 工事計画審査資料
資料番号	02-工-B-04-0018_改 1
提出年月日	2021年10月28日

工事計画に係る説明資料

原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

(3.6.9 代替水源移送系)

(添付書類)

2021年10月

東北電力株式会社

女川原子力発電所第2号機 工事計画認可申請書本文及び添付書類

目 録

VI 添付書類

VI-1 説明書

VI-1-1 各発電用原子炉施設に共通の説明書

VI-1-1-4 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書

VI-1-1-4-3 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書(原子炉冷却系統施設)

VI-1-1-4-3-4 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備に係る設定根拠に関する説明

書

VI-1-1-4-3-4-6 代替水源移送系 VI-1-1-4-3-4-6-1 代替水源移送系 主配管(常設)

VI-6 図面

- 4. 原子炉冷却系統施設
 - 4.4.9 代替水源移送系

第 4-4-9-1-1 図 【設計基準対象施設】代替水源移送系系統図(1/3) (補給水系その2)

第 4-4-9-1-2 図 【設計基準対象施設】代替水源移送系系統図(2/3)可搬

第 4-4-9-1-3 図 【設計基準対象施設】代替水源移送系系統図(3/3)可搬

第 4-4-9-1-4 図 【重大事故等対処設備】代替水源移送系系統図(1/3)

(補給水系その2)

第 4-4-9-1-5 図 【重大事故等対処設備】代替水源移送系系統図(2/3)可搬

第 4-4-9-1-6 図 【重大事故等対処設備】代替水源移送系系統図 (3/3) 可搬

第4-4-9-2-1図 代替水源移送系 機器の配置を明示した図面(その1)

第4-4-9-3-1図 代替水源移送系 主配管の配置を明示した図面 (その1)

第4-4-9-3-2図 代替水源移送系 主配管の配置を明示した図面(その2)

VI-1-1-4-3-4-6-1 設定根拠に関する説明書 (代替水源移送系 主配管(常設))

名	称	復水貯蔵タンク接続口 〜 復水貯蔵タンク純水入口配管合流点
最高使用圧力 MPa		1.37, 静水頭
最高使用温度	$^{\circ}\!\mathbb{C}$	66
外 径	mm	165. 2

_

【設定根拠】

(概要)

本配管は、復水貯蔵タンク接続口から復水貯蔵タンク純水入口配管合流点を接続する配管であり、重大事故等対処設備としては、代替淡水源(淡水貯水槽 (No. 1) 又は淡水貯水槽 (No. 2))又は海水を水源として、大容量送水ポンプ (タイプ I) により復水貯蔵タンクへ供給するために設置する。

1. 最高使用圧力の設定根拠

1.1 最高使用圧力 1.37 MPa

本配管を重大事故等時において使用する場合の圧力は,重大事故等時における大容量送水ポンプ(タイプ I)の使用圧力 1.2 MPa を上回る 1.37 MPa とする。

1.2 最高使用圧力 静水頭

本配管を重大事故等時において使用する場合の圧力は,重大事故等時における復水貯蔵タンクの使用圧力と同じ静水頭とする。

2. 最高使用温度の設定根拠

本配管を重大事故等時において使用する場合の温度は、重大事故等時における大容量送水ポンプ(タイプ I)の使用温度 50 \mathbb{C} を上回る 66 \mathbb{C} とする。

3. 外径の設定根拠

本配管を重大事故等時において使用する場合の外径は、水源から淡水又は海水を供給するため、エロージョン、圧力損失・施工性等を考慮し、先行プラントの配管実績に基づいた標準流速を目安に選定し、165.2 mm とする。

外径	厚さ	呼び径	流路面積	流量	流速*	標準流速
A	В		С	D	E	
(mm)	(mm)	(A)	(m^2)	(m^3/h)	(m/s)	(m/s)
165. 2	7. 1	150	0. 01791			

注記 *:流速及びその他のパラメータとの関係は以下のとおりとする。

$$C = \pi \cdot \left\{ \frac{1}{2} \cdot \frac{(A - 2 \cdot B)}{1000} \right\}^{2}$$

$$E = \frac{D}{3600 \cdot C}$$

名称		復水貯蔵タンク純水入口配管合流点 〜 復水貯蔵タンク	
最高使用圧力 MPa		静水頭	
最高使用温度	$^{\circ}\!\mathbb{C}$	66	
外 径	mm	165. 2	

_

【設定根拠】

(概要)

本配管は、復水貯蔵タンク純水入口配管合流点から復水貯蔵タンクを接続する配管であり、 重大事故等対処設備としては、代替淡水源(淡水貯水槽(No. 1)及び淡水貯水槽(No. 2))又は海 水を水源として、大容量送水ポンプ(タイプ I)により復水貯蔵タンクへ供給するために設置す る。

1. 最高使用圧力の設定根拠

本配管を重大事故等時において使用する場合の圧力は,重大事故等時における復水貯蔵タンクの使用圧力と同じ静水頭とする。

2. 最高使用温度の設定根拠

本配管を重大事故等時において使用する場合の温度は、重大事故等時における主配管「復水 貯蔵タンク接続口~復水貯蔵タンク純水入口配管合流点」の使用温度と同じ 66 ℃とする。

3. 外径の設定根拠

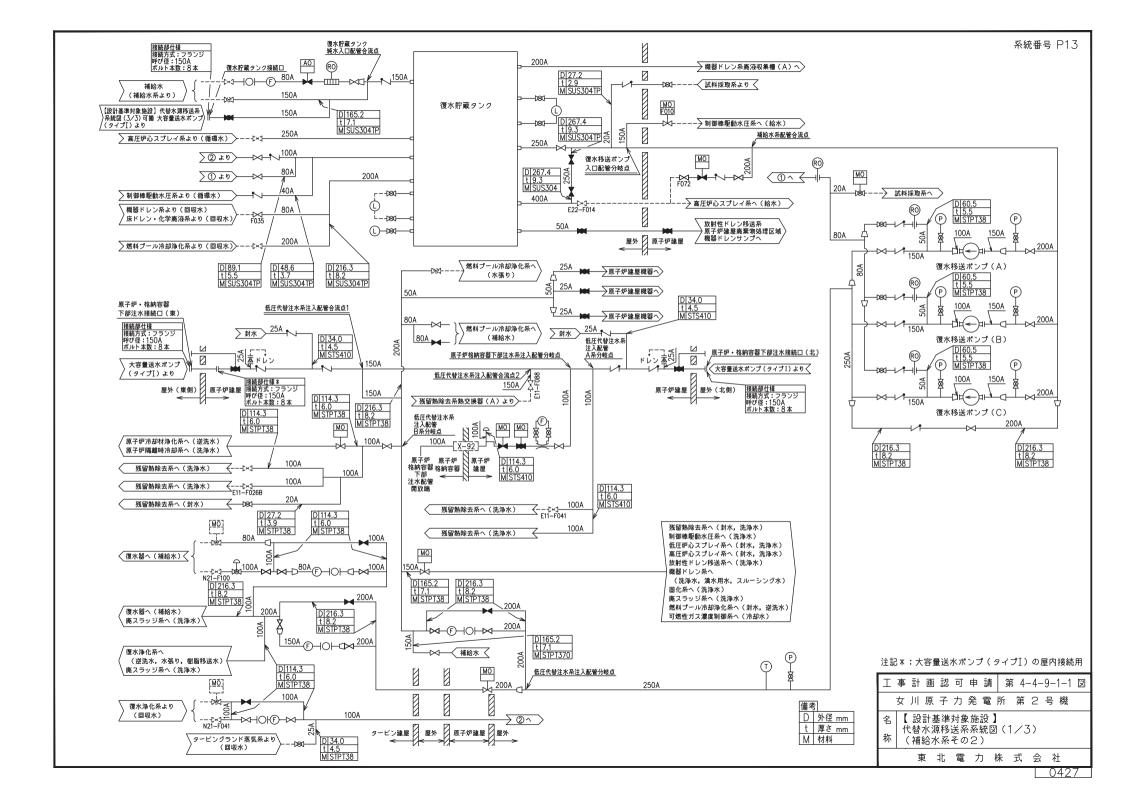
本配管を重大事故等時において使用する場合の外径は、水源から淡水又は海水を供給するため、エロージョン、圧力損失・施工性等を考慮し、先行プラントの配管実績に基づいた標準流速を目安に選定し、165.2 mm とする。

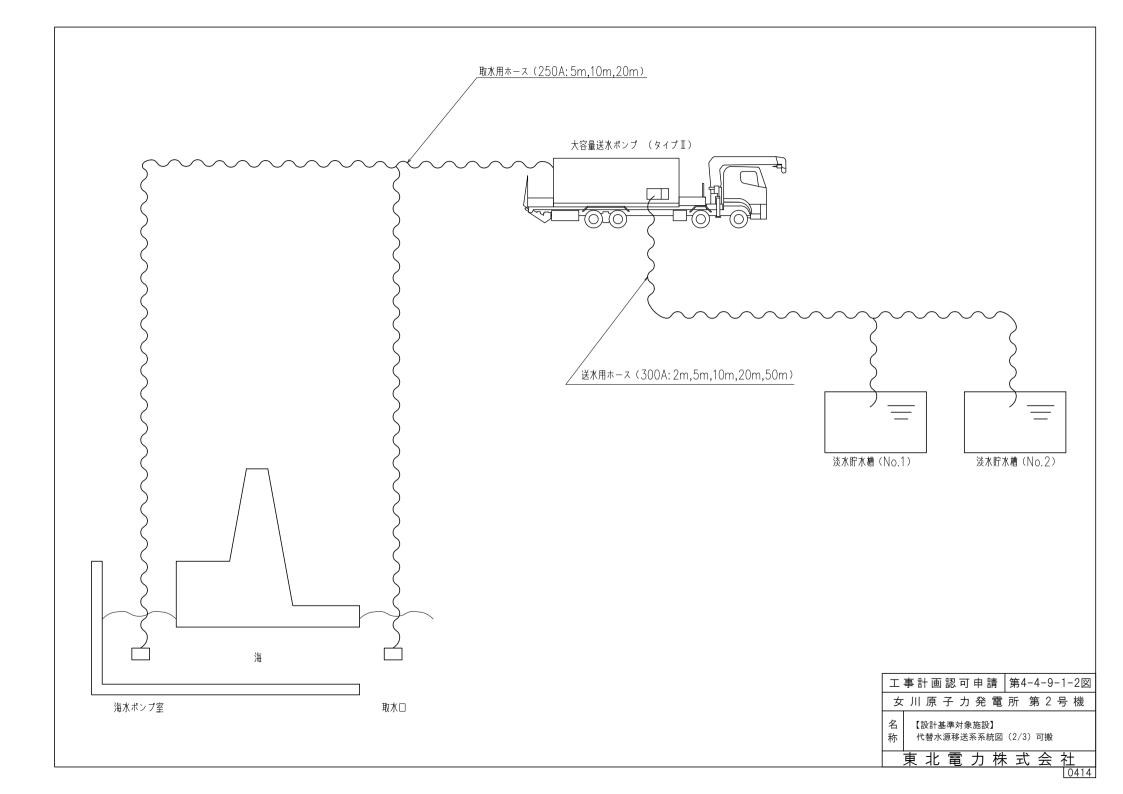
外径	厚さ	呼び径	流路面積	流量	流速*	標準流速
A	В		С	D	E	
(mm)	(mm)	(A)	(m^2)	(m^3/h)	(m/s)	(m/s)
165. 2	7. 1	150	0. 01791			

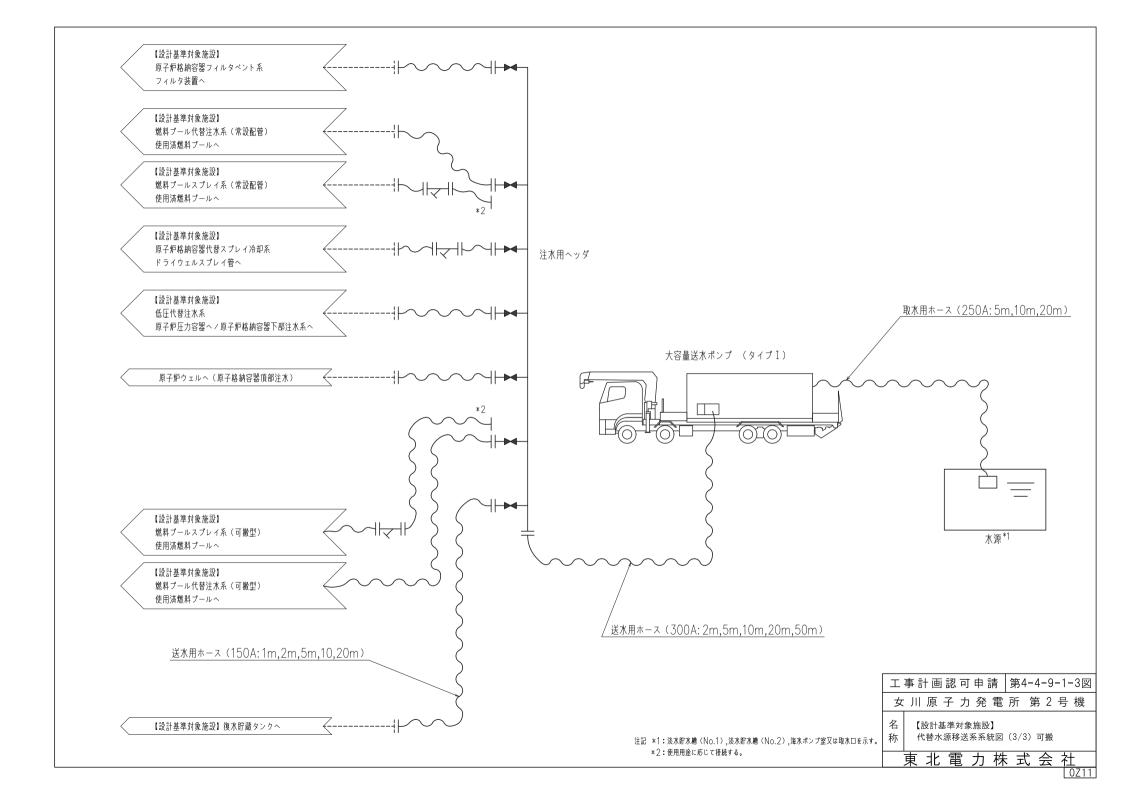
注記 *:流速及びその他のパラメータとの関係は以下のとおりとする。

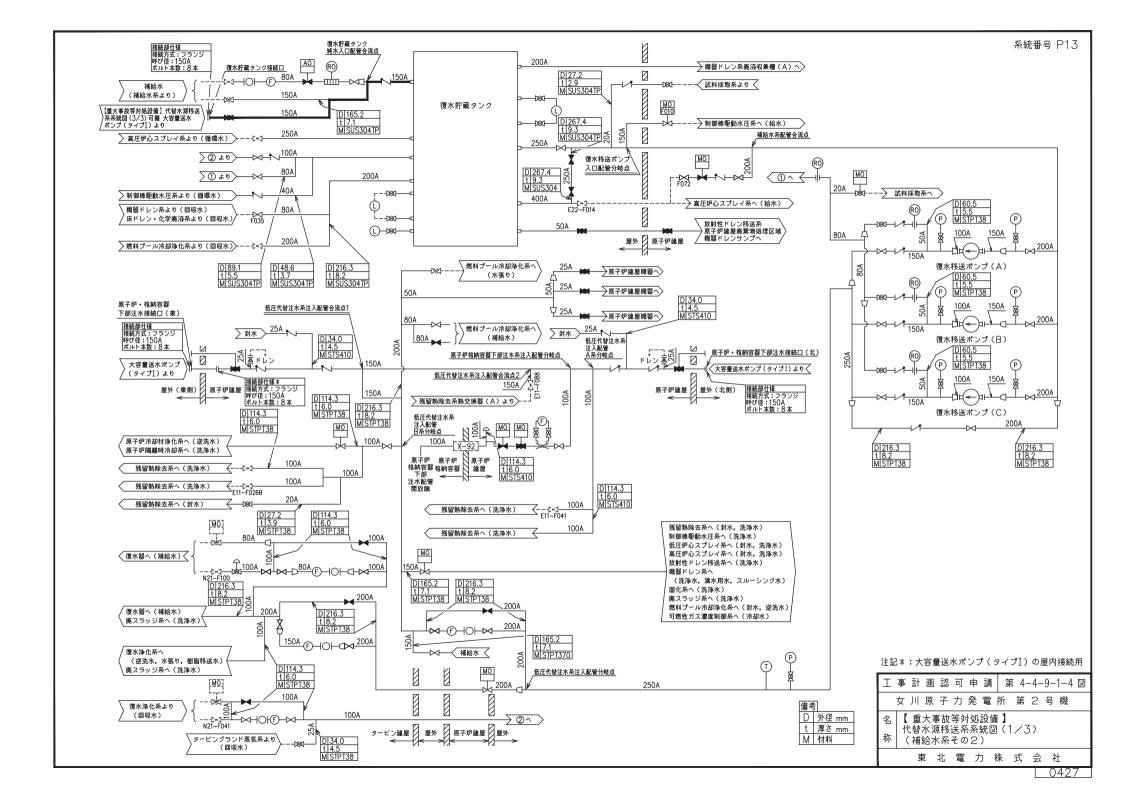
$$C = \pi \cdot \left\{ \frac{1}{2} \cdot \frac{(A - 2 \cdot B)}{1000} \right\}^{2}$$

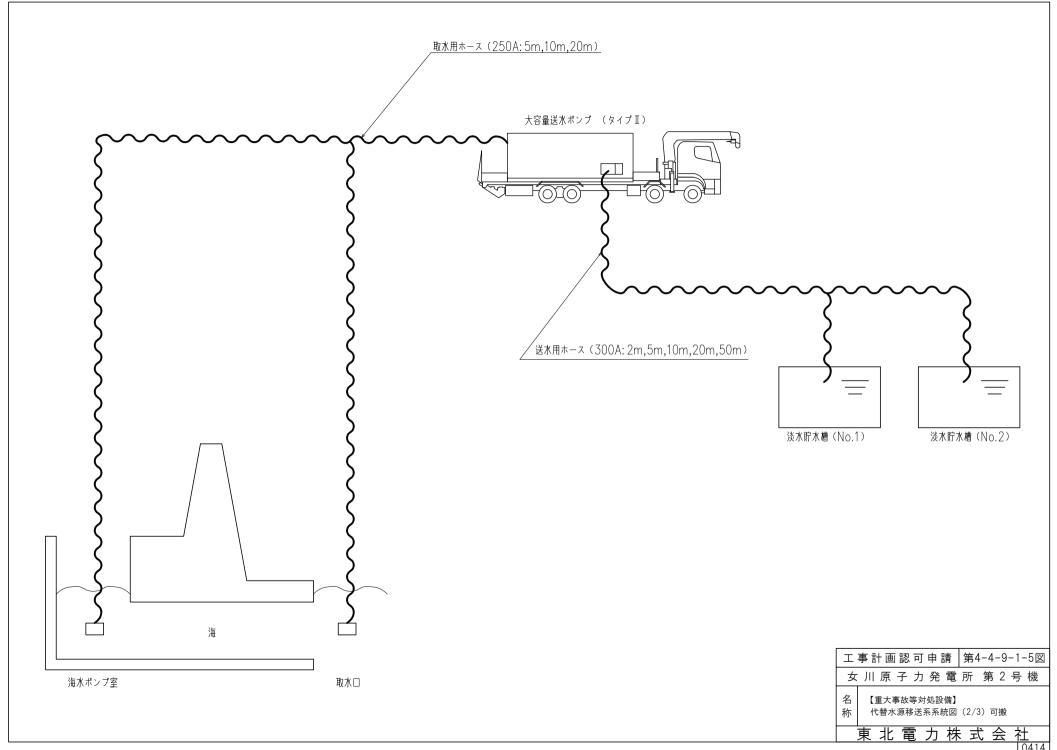
$$E = \frac{D}{3600 \cdot C}$$

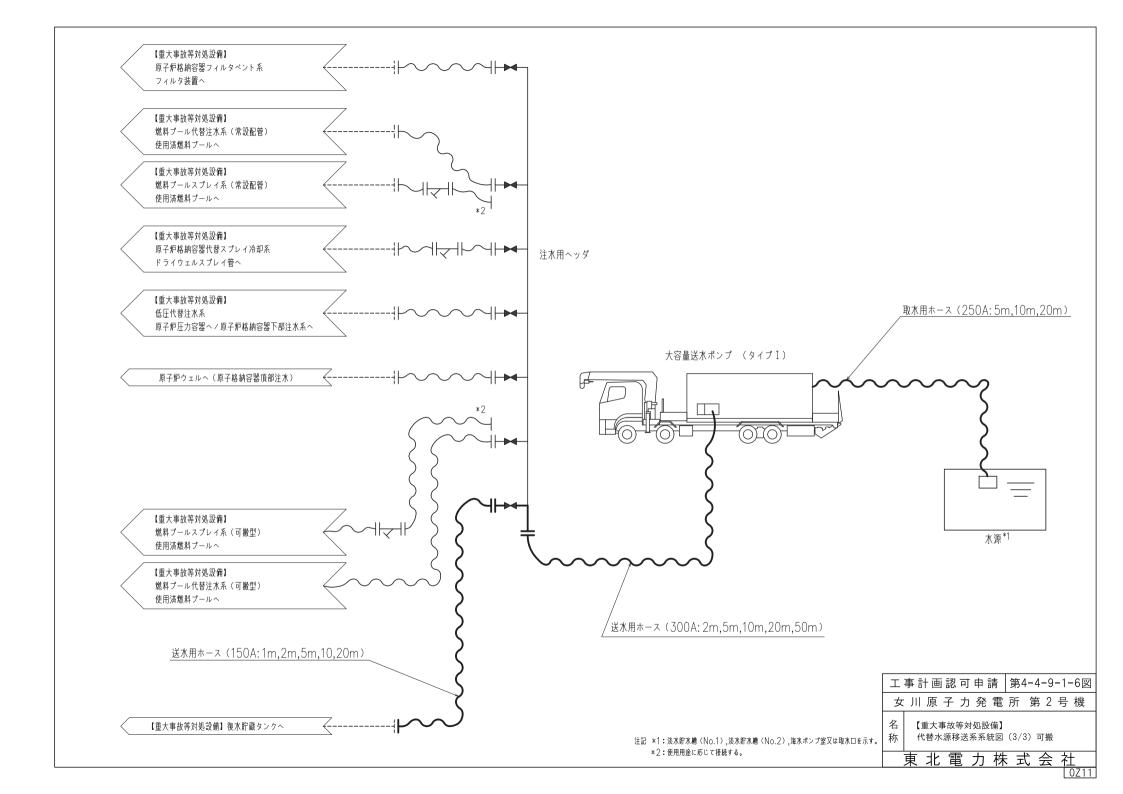


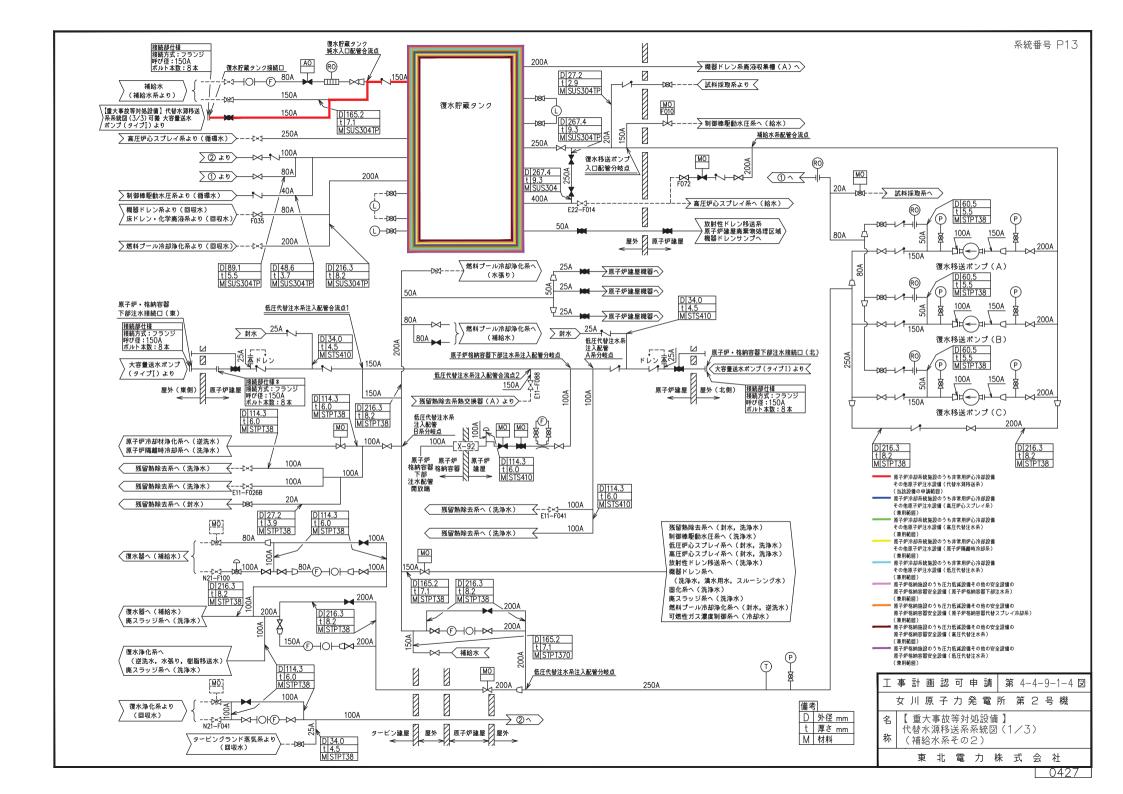


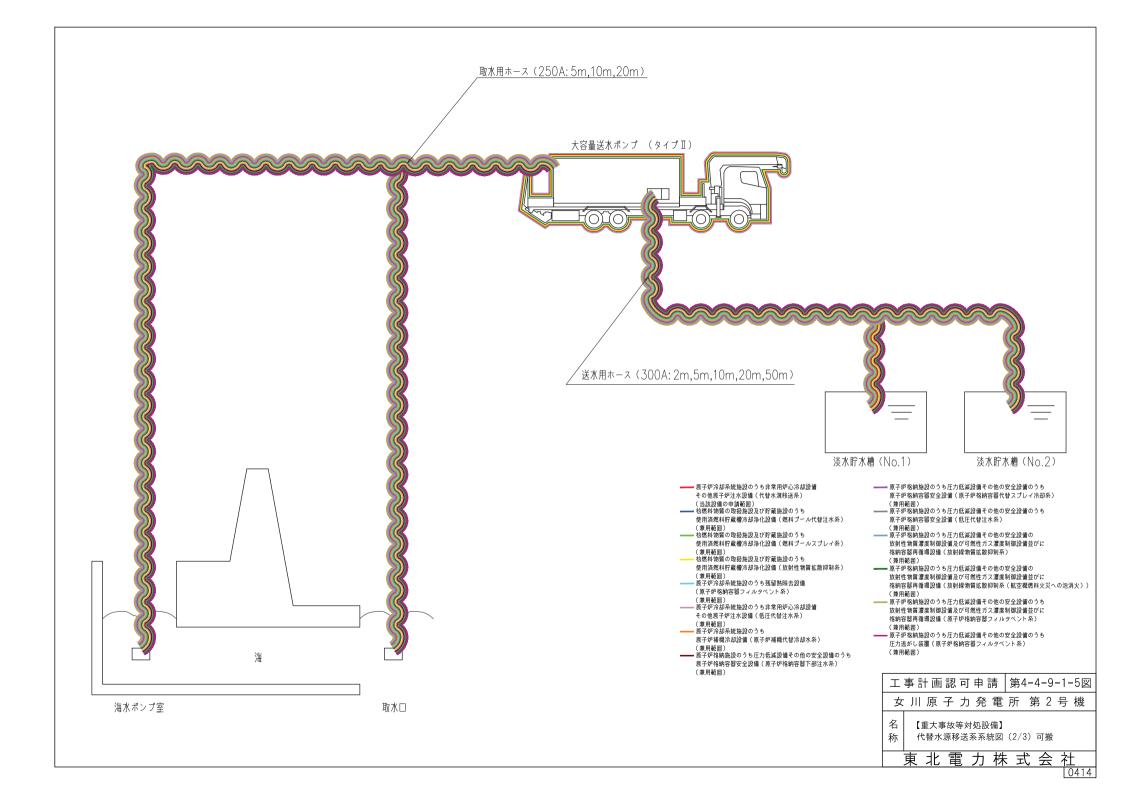


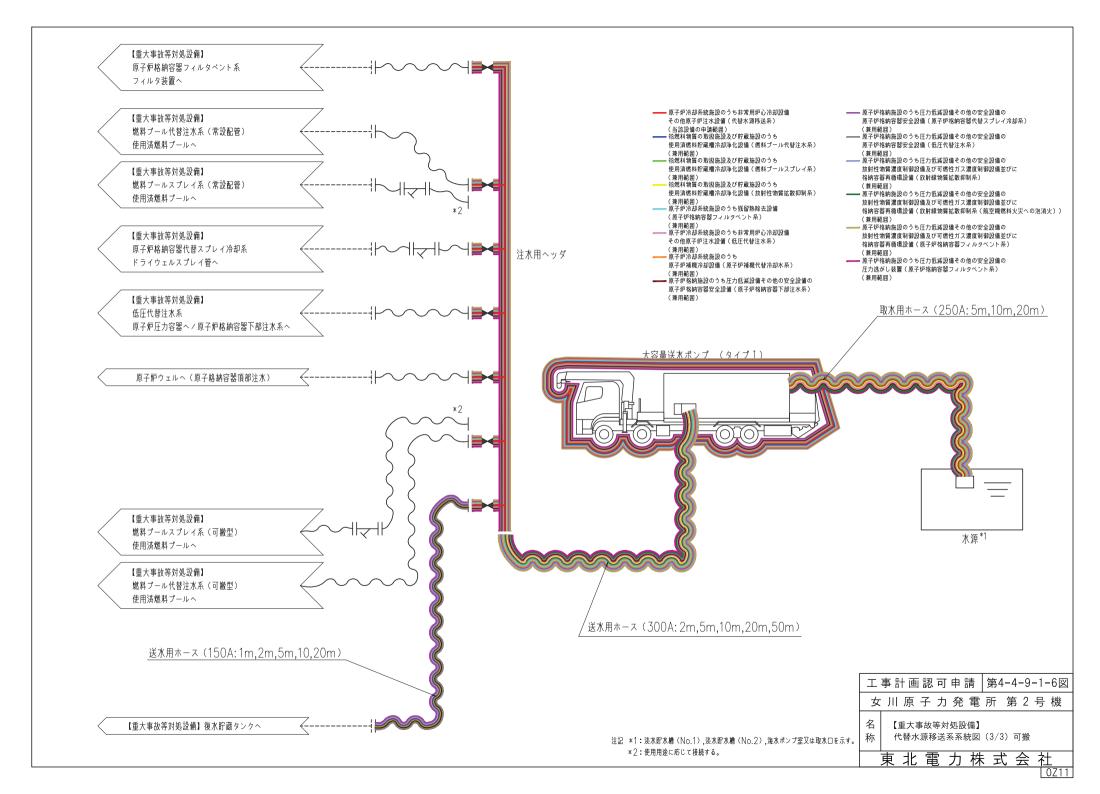


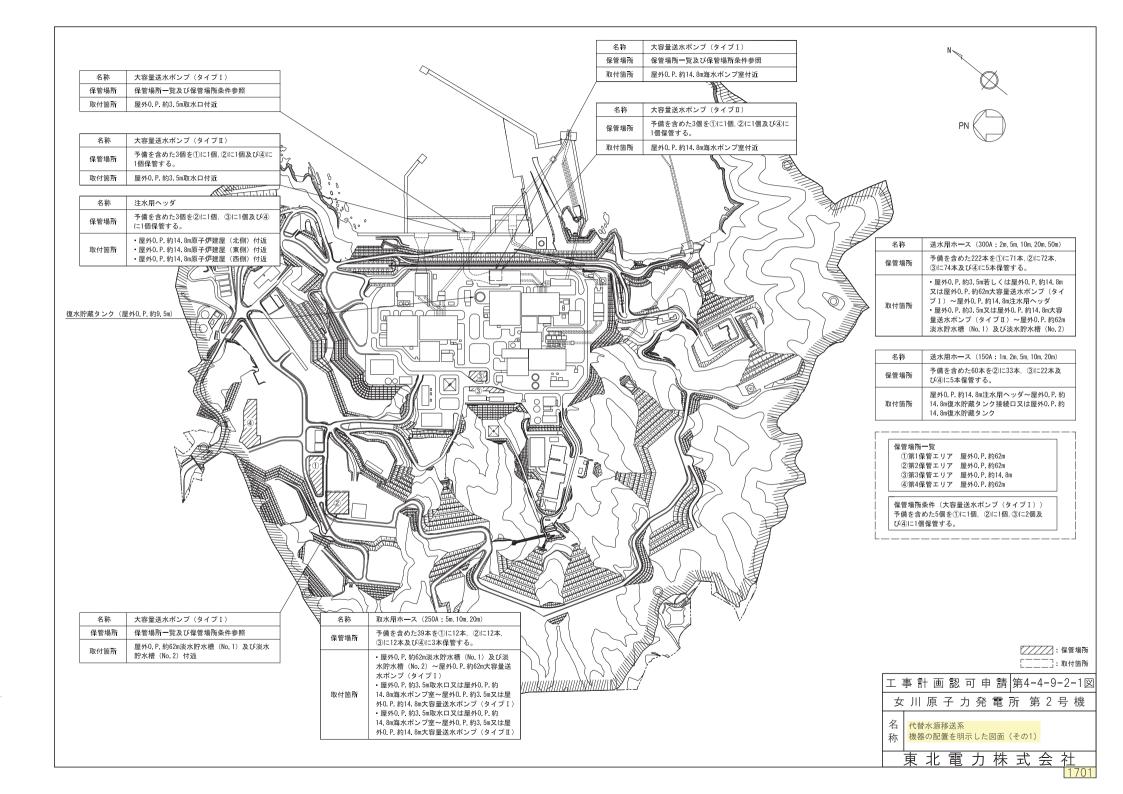


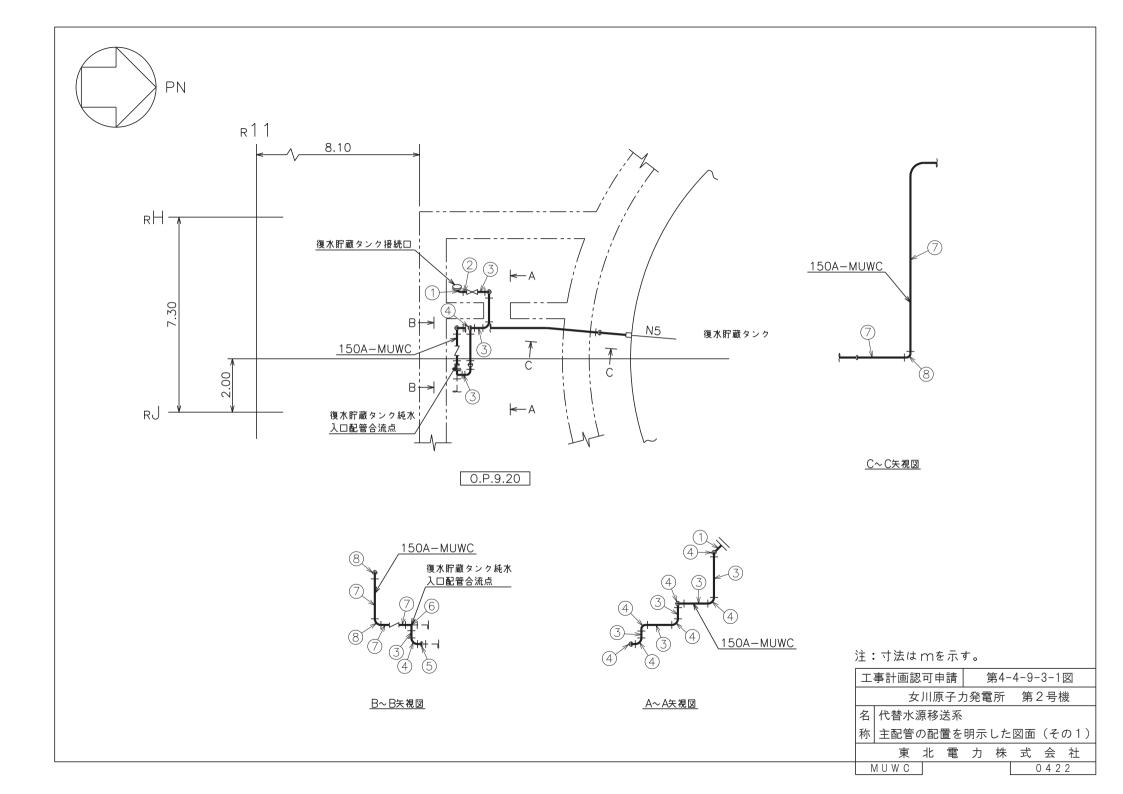












No.	名称	部品	外径*	厚さ*	材質
1	復水貯蔵タンク接続口 〜 復水貯蔵タンク純水 入口配管合流点	エルボ	165.2	7.1	SUS304TP
2		管	165.2	7.1	SUS304TP
3		管	165.2	7.1	SUS304TP
4		エルボ	165.2	7.1	SUS304TP
5		ティー	165.2 / - / 165.2	7.1 / - / 7.1	SUS304TP
6		ティー	165.2 / - / 165.2	7.1 / - / 7.1	SUS304TP
7	復水貯蔵タンク純水 入口配管合流点 〜 復水貯蔵タンク	管	165.2	7.1	SUS304TP
8		エルボ	165.2	7.1	SUS304TP

^{*} 外径及び厚さは公称値(mm)を示す。

工事計画認可申請 第4-4-9-3-2図

女川原子力発電所 第2号機

名 代替水源移送系

| 称 | 主配管の配置を明示した図面(その2)

東北電力株式会社

MUWC

0 4 2 2

第 4-4-9-3-1~2 図 代替水源移送系 主配管の配置を明示した図面 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

[主配管]

管NO. 1,4,8* 管継手 (エルボ)

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
外径	165. 2	+2.4mm -1.6mm	【プラス側公差】 JIS B 2312による材料公差 【マイナス側公差】 JIS B 2312による材料公差
厚さ	7. 1	+規定しない -12.5%	同上

管NO. 2,3,7*

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
外径	165. 2	±1%	JIS G 3459による材料公差
厚さ	7. 1	$\pm 12.5\%$	同上

管NO. 5,6* 管継手(ティー)

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
外径	165. 2	+2.4mm -1.6mm	【プラス側公差】 JIS B 2312による材料公差 【マイナス側公差】 JIS B 2312による材料公差
厚さ	7. 1	+規定しない -12.5%	同上

注:主要寸法は、工事計画記載の公称値。

注記*:主配管の配置を明示した図面の管NO.を示す。